

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成29年1月30日 (月)

■福祉サービス事業者情報

名 称	特別養護老人ホーム梅光苑	種 別	介護老人福祉施設
代表者氏名	内田 芳明	開設年月日	昭和50年4月
設 置 者	社会福祉法人相清福祉会	定員(利用人数)	110名
所 在 地	山口市鑄銭司2361番地3		
電 話 番 号	083-896-2340	FAX番号	083-986-3658
ホームページアドレス	http://www.aikawaiin.or.jp/baikouen/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- ・ 歴史ある施設で、幹部職員が誇りを持って働き、施設を大切にしていること、さらに、離職率が低いことは、施設が職員の働きやすい職場づくりに努力していることの表れと高く評価できる。
- ・ 利用者と職員が同じ食事を同じ場所で、同じ時間に見守り介助を行いながら摂っている。この姿から、大家族の賑わい感、愛情、信頼関係が伝わってきた。
- ・ 前回(平成18年受審)の第三者評価結果より、改善点として、各取組についてのマニュアル化があげられていたが、今回は、マニュアルが整備されている。特に、感染症については、マニュアルに基づき徹底した職員教育が実施されている。さらに、必要に応じ迅速にマニュアルが改定されていることは評価できる。
- ・ 盤石な医療体制は利用者の安心に繋がるものと評価できる。

◇改善を求められる点

- ・ 把握された経営環境及び経営状況に基づき、現状分析を行ったうえでの経営課題を明確にし、明確にされた課題解決にあたり、PDCAサイクルを十分に機能させる仕組みを構築していただきたい。
- ・ 職員の質の向上に向けて、職員個々の研修計画を策定すると共に、座学で学んだ研修を日常の支援場面で生かされるよう、現場に於ける職員教育の徹底を図っていただきたい。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

職員一人ひとりが誇りと責任を持ち、ご利用者やご家族との信頼関係を大切にしてお世話をさせていただきます。今後も更なる職員の資質向上に向けて取り組んでいきたいと考えています。

併せて、地域貢献の一環として立ち上げた「かわばた邸」の運営に介護職員や相談員も参加して、地域の住民との交流にも努めています。

梅光苑は、昭和50年4月の開設以来、地域の皆様と共に歩んで参りました。これからも、法人全体が一丸となって、地域の皆様及びご利用者へ、きめ細かいサービスの提供に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	0	b	9	c	0	Na	0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念・基本方針は明文化され、施設玄関に掲示されていると共に、事業計画やホームページにも掲載されている。 ・ 理念・基本方針は、会議・研修会等を通じて職員に周知している。今後は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫をし、利用者への周知を図ることが望まれる。 ・ 把握された経営環境及び経営状況に基づき、現状分析を行ったうえでの経営課題を明確にし、明確にされた課題解決に当たり、PDCAサイクルを十分に機能させる仕組みを構築していただきたい。 								

II 組織の運営管理	a	9	b	8	c	1	Na	0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者は自らの役割と責任を表明し、経営課題の明確化を図ると共に、各種研修や勉強会に積極的に参加している。そして、その内容を各種会議や研修会を通じて職員へ周知している。 ・ 人事基準が明確に定められ適切に運用されている。ストレスチェックにもとづく職員の個別相談実施、短時間正職員制度の導入、職場内託児所を設ける等、職員の働きやすい職場づくりに努力している。そのことが、職員の離職率の低さに反映している。 ・ 法人所有の地域支援拠点「かわばた邸」を月3回、地域の方に開放し、月1回、認知症カフェとしても活用する等、事業所が有する機能を地域に積極的に還元していることは評価できる。 ・ 職員の質の向上に向けて、職員個々の研修計画を策定すると共に、職員一人ひとりが目標を設定し、管理者は目標達成に向けての助言や支援を行っていただきたい。 								

III 適切な福祉サービスの実施	a	13	b	3	c	2	Na	0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護相談委員派遣事業を受け入れ、利用者が意見を述べやすい体制を確保している。 ・ 過去の感染症発症を機に、感染委員会を中心として、徹底した職員教育を行っている。さらに、感染症対策マニュアルについても、環境保健所等の専門機関の適切な助言・指導のもとに作成され、必要に応じて見直しを行っていることは高く評価できる。 ・ 利用者満足度調査及び個別相談面接を実施する等、利用者満足を把握するための仕組みを整備され、具体的な改善を行っていただきたい。 								

IV 良質な個別サービスの実施	a	25	b	8	c	0	Na	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の日常生活支援は、マニュアル及び個別支援計画にもとづき、個人情報に配慮し行われていることは評価できる。 ・ 施設内に診療所を設け、嘱託医、協力医療機関、看護師との日常的な連携がしっかりとれている。その上で日常の健康管理及び迅速かつ適切な医療が提供され、終末期ケアにも取り組んでいることは、利用者及びその家族の安心に繋がっていることから高く評価できる。 ・ 昭和50年に設置された施設をトイレ改修や多床室の中の個室化を図る等、利用者が過ごしやすい環境づくりに計画的に取り組んでおられることは評価できる。 ・ 積極的に取り組んでいるマナー及び接遇研修を日常の支援場面で生かされるよう、現場に於ける職員教育の徹底を図っていただきたい。 								